

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド」は、2019年5月27日に第2期決算を行いました。

当ファンドはアイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する外国投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産に投資を行い、値上がり益の獲得を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド
愛称: あんしんロボ

商品分類 (追加型投信 / 内外 / 資産複合)

第2期 (決算日 2019年5月27日)
作成対象期間: 2018年11月27日~2019年5月27日

第2期末 (2019年5月27日)	
基準価額	10,019円
純資産総額	1,957百万円
第2期	
騰落率	9.1%
分配金合計	300円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書(全体版)」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

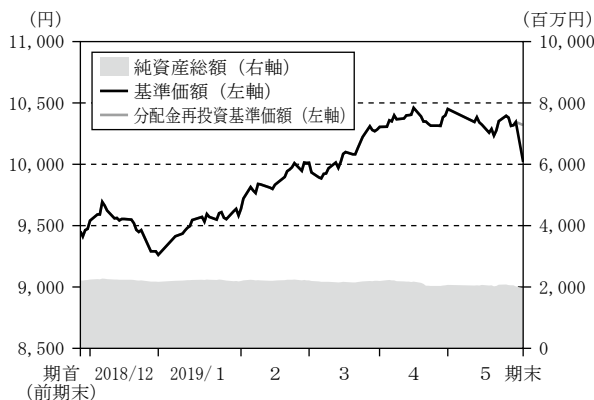
投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第2期首：9,454円
 第2期末：10,019円（既払分配金300円）
 騰落率：9.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年11月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」において、全てのセクターで収益を獲得しました。特に国債と社債セクターのプラス寄与がパフォーマンスを牽引し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	10.0%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	△ 0.0

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018/11/27～2019/5/27		
	金額	比率	
平均基準価額	9,867円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	44円	0.442%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(16)	(0.162)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(26)	(0.264)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	45	0.451	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

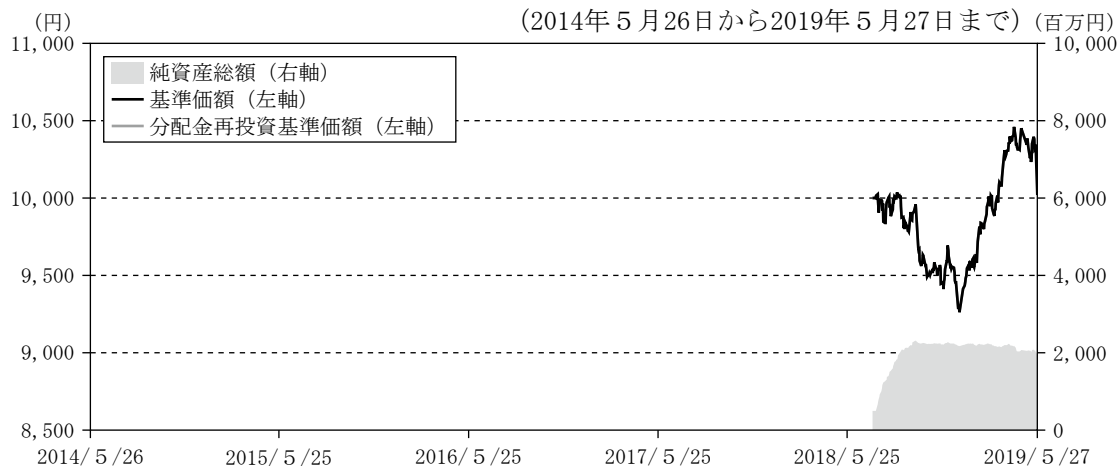
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2018年7月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年7月17日 設定日	2019年5月27日 決算日
基準価額（分配前）（円）	10,000	10,019
期間分配金合計（税込み）（円）	—	300
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	3.2
純資産総額（百万円）	493	1,957

- (注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

投資環境

■ 株式市場

期初、株式市場は世界的に下値模索の展開となりました。米中関係悪化が懸念されるなか、欧米各国の経済指標は下振れし、企業心理の悪化も目立ち始め、景気減速懸念が高まりました。年明けも株価急落で始まったものの、米利上げ観測の後退や米中通商交渉進展の期待等を材料に株価は反転上昇、その後も2019年4月末頃にかけて、一部米政府機関の再開回避や良好な企業決算内容等も追い風となり、米国株式は上昇基調が続きました。日本、欧州などの先進国株式、中国株式についても米国株式とほぼ同様の株価推移でしたが、日本では減益決算や為替動向等、欧州では域内景気の減速、中国では景気減速懸念に加え、米中貿易摩擦の当事者国であること等が影響し、米国株式に比べ上昇率は限られたものに留まりました。5月に入り、米中貿易協議の難航が伝えられると、株式市場のムードは一変し、株価の上値が重くなり軟調な展開となりました。

■ 債券市場

期初から、米金融当局のハト派化や原油価格下落を背景としたインフレ期待の後退を受け、世界的に金利は低下傾向となりました。年明け後、2019年2月末にかけては、FOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げ観測の後退、米経済指標の悪化等が金利低下要因となりましたが、米中通商問題の進展期待や米政府機関の再開回避等の通商・政治問題の懸念後退が株高、金利押し上げ要因となり、強弱材料が拮抗するなか金利はレンジ内での動きとなりました。3月には、欧米の経済指標が悪化したことを受け、主要国中央銀行が金融引締めには慎重な姿勢となり、景気後退懸念が再び意識され主要先進国の金利は低下しました。4月は、主要国中央銀行が金融政策の引締めを事実上封印・中立化へとシフトしたことで、投資家の利回り追求志向がリスク資産買い、安全資産売りとなり金利は上昇しました。5月は、足許の物価上昇率の落ち着き、米中貿易協議の難航などを材料として、再び金利は低下基調となるなど方向感の定まらない展開となりました。

■ その他市場

インフレ連動債については、米国では期初から景気減速懸念が台頭するなか上昇し、その後も米中貿易摩擦等を背景に堅調、2019年3月末から期末にかけてはレンジ内で横ばいとなりました。英国についても、EU（欧州連合）離脱を巡り不透明感がくすぶり続けたこともあり、期を通じて堅調な展開となりました。一方、欧州については、期初はユーロ安もあり軟調となっていましたが、年明け以降は域内景気の減速、各種地政学的リスク等から堅調推移となりました。

社債については、期初は世界的な景気減速懸念から株価や原油価格等のリスク資産価格が大幅下落するなか、社債についても軟調な展開となりました。年明け以降、FRB（米連邦準備制度理事会）が金融引締めには慎重な姿勢となったことを受け、投資家のリスク選好の強まりから対国債スプレッドは縮小、期末にかけ堅調推移が続きました。

商品では、商品指数全体は、期初から大きく下落、年明け後は反転上昇、期末にかけては上値の重い展開となりました。原油価格は、景気減速懸念が高まるなか、米原油在庫の増加や供給過剰感から、期初に大きく下落しました。新年入り後は、米国の金融引締め政策の小休止を受け、原油価格は反発上昇しました。金属については、銅、鉄等のベース金属は原油価格と同様の価格推移とな

り、金価格については期を通じて堅調推移となりました。農産品については、小麦、大豆等の穀物価格は、期を通じて軟調推移となりましたが、コーヒー、砂糖等のソフト商品の動きはまちまちとなりました。

■ 国内短期金融市場

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.29\%$ から期末は $\Delta 0.15\%$ となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

■ マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

■ T&Dマネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、300円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	当期
	2018年11月27日 ～2019年5月27日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.907
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスク—日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

■ マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスク—日本円クラス（ヘッジ付）

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

■ T&Dマネーアカウントマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

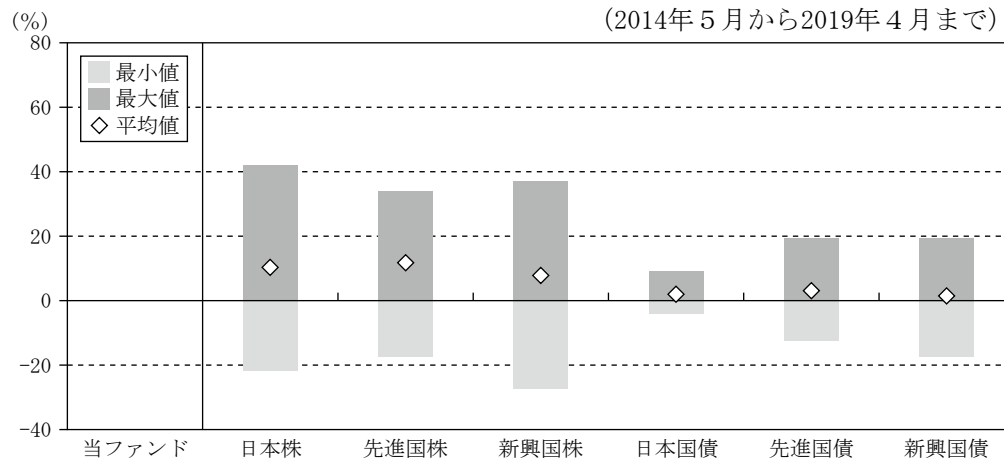
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年7月17日から2023年11月27日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスク－日本円クラス（ヘッジ付）	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（5月と11月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年5月から2019年4月まで)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	—	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4
最大値	—	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	—	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2018年7月17日に設定されたため、表示対象となる数値はありません。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

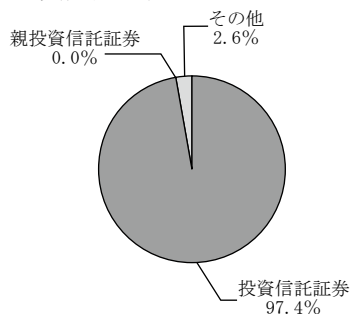
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

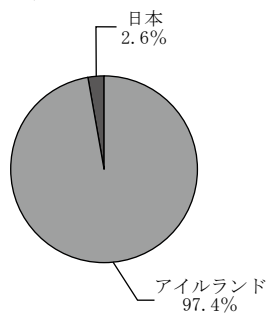
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	当期末
	2019年5月27日
	比率
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク-日本円クラス（ヘッジ付）	97.4%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0
その他	2.6

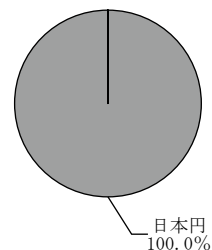
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

項目	当期末
	2019年5月27日
純資産総額	1,957,087,906円
受益権総口数	1,953,291,813口
1万口当たり基準価額	10,019円

(注) 期中における追加設定元本額は291,364,832円、同解約元本額は684,675,611円です。

組入上位ファンドの概要

マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク-日本円クラス（ヘッジ付）（2018年1月1日から2018年12月31日まで）

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2017年12月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下は、「マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク」の状況です。

■ 組入銘柄（債券）（上位10銘柄）（組入銘柄数：13銘柄）

銘柄名	国	比率
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 22/03/2026	イギリス	16.1%
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond 0.1% 15/04/2026	ドイツ	13.0
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.375% 15/07/2027	アメリカ	12.9
French Republic Government Bond Oat 1.85% 25/07/2027	フランス	11.8
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.125% 15/07/2022	アメリカ	7.4
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.75% 15/07/2028	アメリカ	2.7
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.625% 15/04/2023	アメリカ	0.8
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond 0.5% 15/04/2030	ドイツ	0.5
United States Treasury Bill 0% 24/01/2019	アメリカ	0.2
United States Treasury Bill 0% 07/02/2019	アメリカ	0.2

■ 為替先渡取引（上位10銘柄）（組入銘柄数：21銘柄）

通貨		満期日	比率
買い	売り		
EUR	USD	2019/1/31	30.6%
USD	EUR	2019/1/17	27.4
JPY	USD	2019/1/31	22.4
USD	GBP	2019/1/17	17.9
GBP	USD	2019/1/31	1.5
GBP	USD	2019/1/17	1.3
USD	EUR	2019/1/31	1.2
EUR	USD	2019/1/17	0.9
USD	JPY	2019/1/31	0.8
CHF	USD	2019/1/31	0.8

■ 先物取引（上位10銘柄）（組入銘柄数：39銘柄）

買い		
銘柄名	市場	比率
United States Long Bond (CBT) March 2019	アメリカ	0.5%
United States 10 Years Note (CBT) March 2019	アメリカ	0.4
United States Ultra Bond (CBT) March 2019	アメリカ	0.3
United States 5 Years Note (CBT) March 2019	アメリカ	0.2
Long Gilt Futures March 2019	イギリス	0.2
EURO BTP Futures March 2019	ドイツ	0.1
Japan 10 Years Bond (OSE) March 2019	日本	0.1
Canadian 10 Years Bond Futures March 2019	カナダ	0.1
EURO BUND Futures March 2019	ドイツ	0.1
United States 2 Years Note (CBT) March 2019	アメリカ	0.0

■ トータルリターン・スワップ取引 （組入銘柄数：1銘柄）

銘柄名	国・地域	数量	比率
BBG Commex AG&LV Capital	アメリカ	349,000	△0.8%

■ クレジット・デフォルト・スワップ取引 売り （組入銘柄数：5銘柄）

銘柄名	国・地域	数量	比率
ITraxx Xovers 30V2 5 Years 500bps 20 December 2023_Credit Suisse Securities	欧州	△ 20,000,000	0.2%
NAHYS 31V1 5 Years 500bps 20 December 2023_JP Morgan Securities Limited	アメリカ	△ 55,000,000	0.2
NAIGS 31V1 5 Years 100bps 20 December 2023_Credit Suisse Securities	アメリカ	△165,000,000	0.2
ITraxx Europes 30V1 5Years 100bps 20 December 2023_Goldman Sachs	欧州	△115,000,000	0.1
NAHYS 31V1 5Years 500bps 20 December 2023_Credit Suisse Securities	アメリカ	△ 5,000,000	0.0

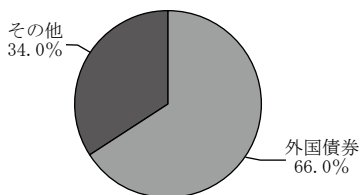
買い （組入銘柄数：4銘柄）

銘柄名	国・地域	数量	比率
ITraxx Europes 30V1 5 Years 100bps 20 December 2023_BNP Paribas 91.62	欧州	10,000,000	△0.0%
NAHYS 31V1 5 Years 500bps 20 December 2023_JP Morgan Chase Bank	アメリカ	5,000,000	△0.0
NAHYS 31V1 5Years 500bps 20 December 2023_Credit Suisse Securities	アメリカ	5,000,000	△0.0
NAIGS 31V1 5 Years 100bps 20 December 2023_JP Morgan Chase Bank	アメリカ	20,000,000	△0.0

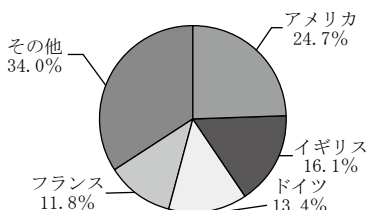
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

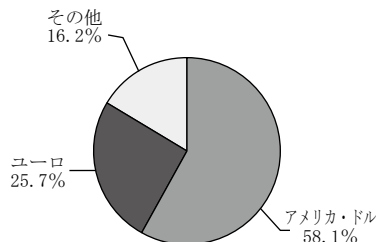
■ 資産別配分



■ 国別配分



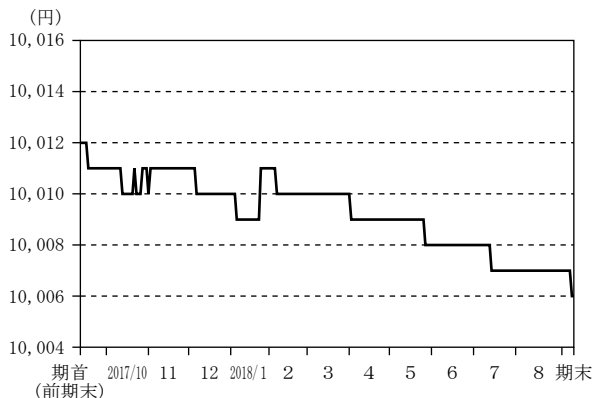
■ 通貨別配分



- (注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引、スワップ取引および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準日です。
- (注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引、スワップ取引および各配分の比率は純資産総額に対する評価額（先物取引、スワップ取引については、監査済報告書の損益計算書上のFair Value）の比率です。
- (注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引、スワップ取引および各配分はマン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

■ 基準価額の推移



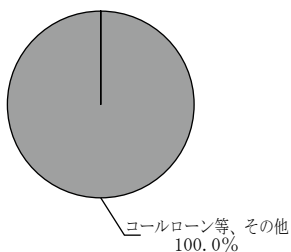
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

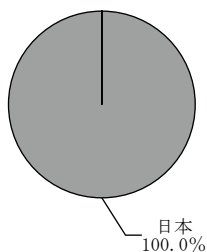
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2017/9/12~2018/9/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,009円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

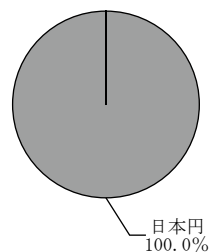
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のもので、費用項目につきましては1ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。

T&D

T&D保険グループ